

## 船が流され無職になった ハローワークに通っている

7月16日、“移動なんでも相談会”が東松島市大塩字緑が丘の東松島市グリーンタウンやもとの仮設住宅で開催されました。仮設住宅訪問時の主な声を紹介します。(災害復興ニュース 57号の続報)



7/16 移動なんでも相談会に参加された宮城県医連のみなさん

### 熱中症が心配です

坂総合病院 5階看護師の栗林麻季さん(写真右)は、今年入職したばかり。「仮設住宅の中はとても暑かった。仮設住宅に入居してもお金がなくクーラーもつけていない。熱中症が心配です」と話していました。名取での相談会にも参加しました。5階病棟では、このような取り組みに、交代で参加するようにしていますとのことでした。



井上博之 歯科医師



中島貴恵子 歯科衛生士



仮設住宅訪問の坂病院スタッフ

健康相談会で医師の診察が必要とされた人は3人でした。その中には血圧190の人、 $\gamma$ -GTP120台の人もありました。

仮設住宅訪問は3班に分かれ、23世帯を訪問しました。被害状況の記録のある人12人のうち12人が家屋全壊とありました。

以下、聞き取り調査での主な声を紹介します。

- \* 仕事がなく、ハローワークに通っている。避難所は大変だった。義援金はどうなっているのか？
- \* プレハブは暑い、避難所では足を延ばせなかった。
- \* 自営業(のり)だが生活の目処がたたない。
- \* ハエが多くて困る。自営業だったので店の場所がどうなるのか心配。痩せてしまった。
- \* お金がない。義援金がまわってこない。睡眠不足。
- \* 他の人との交流できない。避難生活長かった。
- \* 仕事が解雇になった。瓦礫撤去進まない。
- \* 住宅ローンがある。リフォームしても住めない。半壊でもいまの場所に住みたくない。
- \* 部屋が狭く、暑い。網戸がない。臭いがひどい。
- \* 新築した家が流された。もとの家の土地がどうなるか9月に方針はでるというが。
- \* 船が流され、無職になった。